

違いに気づき、受け入れていくこと

学校長

偶然ではありますが、5月の連休中、本校生徒が中学生以外の他者と関わる姿を参観する機会が続きました。小学生の団体と対戦したり、参加した大人のチームの技術に学んだりした卓球大会と、市吹奏楽団のメンバーや、市内にある高校の吹奏楽部のメンバーとの合同演奏に臨んだパティオコンサートのことです。競技や演奏経験年数の差があるので一概には言えませんが、小学生相手に本気で対戦することへの戸惑いややりにくさを感じたり、高校生や大人の演奏から普段の練習では感じられない何かを感じたりしていたはずです。

今回のような異年齢との交流を体験することで、生徒たちは、等質な集団だけでは味わえない何らかの発見、違いを受け入れようと意識すること等ができているかなと欲張って見ていました。素敵な体験の場にいた生徒のみなさん、異年齢の他者と話せたでしょうか。また、自ら話しかけることはできたでしょうか。成功体験や、時には後悔も味わいながらたくましく成長できるよう、周りの大人たちが様々な体験を積ませる機会を提供していくことの大切さを感じた連休中の行事でした。